

～下記の研究を行います～

『薬物中毒症例を対象にした新たな DPC 診断群分類 の考案』

【研究の主宰期間】 国際医療福祉大学大学院

【研究代表者】 下城康史

【研究の目的】

薬物中毒症例における患者背景および医療資源消費に関連する要因を明らかにしたうえで、それらを反映した新たな DPC 樹形図（診断群分類モデル）の構築を目的とする。

【研究の期間】

研究許可日～2027 年 3 月 31 日

【研究の方法】

研究対象施設（単施設）の既存データを用いた後ろ向き横断研究

●対象となる患者さん

2022 年 4 月 1 日～2024 年 5 月 31 日の期間に独立行政法人国立病院機構大阪医療センターで急性薬物中毒治療を受けられた方

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：無し

情報：診療録から以下の情報を収集します。

DPC データ（様式 1、入院 EF 統合ファイル、D ファイル）退院サマリ等

【情報等収集開始日】 2026 年 3 月 9 日

●外部への情報等の提供

データセンター（国際医療福祉大学大学院）への情報等の提供は、患者さんを特定する情報（氏名等）は記載せずに登録番号に置き換え提供します。提供は、パスワード付きファイルの送付または暗号化された専用サーバーへのアップロード等により、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。患者さんと登録番号を結びつける表は、当院の責任者が保管・管理します。

【情報等の管理責任者の氏名又は名称】

国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

国際医療福祉大学大学院

●研究組織

①研究を実施する全ての共同研究機関及び研究責任者

国際医療福祉大学大学院 山本 康弘

②既存の情報等の提供のみを行う機関

国立病院機構大阪医療センター 下城 康史

【研究の資金源】

無し

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象といたしませんので、情報等収集開始日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません。あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

責任者 医療情報部診療情報室 診療情報管理係長 下城康史

研究代表者

国際医療福祉大学大学院

下城康史